



子宮頸がん啓発キャンペーン 女性のキレイと健康を考える 「未来への約束」

Promise to
your future

New Start
vol.1

あなたのキレイは
元気ですか。



ひとりひとり、それなりに、女性の人生って波瀾万丈です。
でも人生のどのステージでも、ずっと自分らしく
輝いていたい思いは、みんな同じかもしれません。
そんな女性たちのキレイと健康を考える
子宮頸がん啓発キャンペーン「未来への約束」。
あなたの今と未来を輝かせる情報を今年も発信します。

4月9日は「子宮の日」



これから子どもを産み育てる20～30代に子宮頸がんが急増しています。
子宮頸がんは性交渉によって子宮の出口である頸部にHPV(ヒトパピ
ローマウイルス)が感染することで発症します。性交渉を通して女性の
80%以上が感染しますが、ほとんどは免疫が働いて排除されます。
ごくまれに排除できず感染が持続した場合、数年かかってがんになる
といわれています。

発症まで時間がかかる子宮頸がんは、検診によってがんになる前の
状態で発見できます。早期発見できれば子宮を温存して治療できま
すが、進行すると子宮を含めた広範な摘出手術が必要です。4月9日は
「子宮の日」。かけがえのない子宮と命を守るために、1年に1度は検診
を受け、自分の体を見つめましょう。

ママになる夢を守る



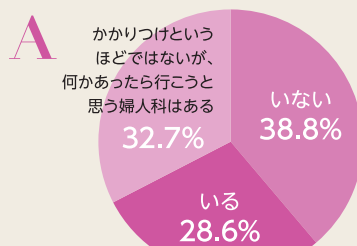
HPVの感染はワクチン接種によって約7割予防できます。性体験
前の10代での接種が効果的で、県内市町村では中学1年から高校
1年を対象に接種費用が公費助成されます。ワクチンは通常、自費で
接種すると約5万円かかります。助成対象となる女の子をもつ保護者
の方は、この機会にお子さんのワクチン接種を検討してください。

ただしワクチンですべてのHPV感染は防げません。セクシャル
デビューしたら、10代からでも検診が必要です。また妊娠を望まない
性交渉にはコンドームを使い、HPV感染から身を守る意識をいつも持
ち続けてください。

※ワクチン接種により副反応が起きる場合がありますので、医師に相談・確認
してください。

富山の女性たちに聞きました

Q 婦人科のかかりつけ医はいますか？



※県内10～60代女性294人へのアンケート

「いない」が4割近くで最も多く、「いる」は約3割。
「かかりつけというほどではないが、何かあったら
行こうと思う婦人科はある」は3割を超え、半数
以上の女性は、いざというときの婦人科を想定
しています。できれば何かが始まる前から、検診
を受けるなど定期的に訪ねる産婦人科があると
心強いですね。



Message

女性を生涯ケアする産婦人科のかかりつけ医を持ちましょう。

吉本レディースクリニック 院長 吉本 裕子先生

女性はライフステージごとに、初潮、
妊娠・出産、閉経など婦人科的なイ
ベントがあります。思春期以降は女性
ホルモンによって体調が整えられてい
ますが、ホルモンはバランスが崩れ
やすく、分泌量が減る年代になれば
更年期障害などが起きます。また社会
でも家庭でもストレスを抱えること
で、世代ごとにメンタルな問題が起
き、さらに女性特有の疾患にも注意が
必要です。女性は誰もがこのような心
身の変化やトラブルにぶつかりなが
ら一生を過ごしています。

女性たちが悩みを抱え込まずに相談
できる、数居の低い窓口にしたい…
そんな思いもあってクリニックを開
業しました。ちょっとした症状でも医
師が診ることで、異常なければ「大丈
夫」と言ってもらえます。「この痛みなら

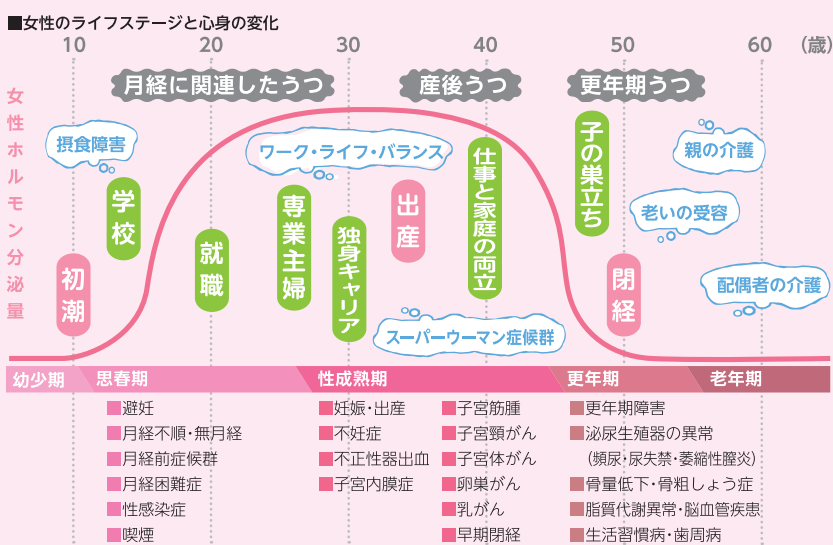
内科へ」などと方向付けもできます。
また異常が見つければ、総合病院へ
しっかり橋渡しします。

こうしたちょっとした相談などを
きっかけに、その後もかかりつけと
して、定期的に身近な産婦人科を訪
ねることが大切です。たとえば1年
に1度を目安にがん検診を受けて異
常がないことを確認し、その都度気
になる悩みを相談しながら体調を見
守り続けられれば、女性特有の疾
患や更年期への備えにもなります。

また女の子は初潮を迎えたら、
産婦人科のかかりつけ医を持つて
はいかがでしょう。今、中学生は公
費助成によって、無料で子宮頸がん
ワクチンが接種できます。ワクチン
接種は、初めて産婦人科を受診する
良いきっかけになります。

この機会に母子で話し合ってみ
ませんか。
産婦人科は女性を生涯にわたって
診る、女性のための総合診療科です。

悩んだときに行こうと思える、かか
りつけの産婦人科があるかどうかで、
女性の人生は大きく違ってくるの
ではないでしょうか。



キャンペーンの内容は専用サイトでもご覧いただけます。

北日本新聞 未来への約束

検索

<http://woman.kp-kikaku.jp>

北日本新聞ウェブ新聞webunからもアクセスできます。

主催／北日本新聞社 後援／富山県、富山県教育委員会、富山県医師会、富山県産婦人科医会、富山県小児科医会、富山県商工会議所連合会、NPO法人女性特有のガンのサポートグループ オレンジティ

協賛社

